

福祉生活病院常任委員会資料

(令和6年6月13日)

[件 名]

- とっとりライトダウンキャンペーン2024の実施について
(環境立県推進課、脱炭素社会推進課)・・・2
- 淀江産業廃棄物管理型最終処分場に係る事業計画について
(循環型社会推進課)・・・3
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
(住宅政策課)・・・5

生活環境部

とっとりライトダウンキャンペーン2024について

令和6年6月13日
環境立県推進課
脱炭素社会推進課

県民一人ひとりが日常生活の中で省エネや脱炭素活動を実践し、地球温暖化を考える契機とするため、夏至の6月21日（金）から七夕の7月7日（日）の間、企業や市町村と連携し、不要な照明やオフィス等の照明を早めに消すなどの「とっとりライトダウンキャンペーン2024」を下記のとおり実施するので、その概要を報告する。

記

1 実施期間 令和6年6月21日（金）から7月7日（日）まで

2 実施内容

- (1) 期間中は、オフィス内の不要な照明や、残業を減らし社内や施設等の照明を早めに落とすなど、可能な範囲で消灯の実施を進める。
- (2) 19市町村のほか、以下のような企業に広く呼びかけ、賛同企業に「ライトダウン宣言」をしてもらい、県ホームページで紹介する。
 - ・RE Action参加企業（約25社）
 - ・県環境推進企業協議会（約30社）
 - ・温室効果ガスの排出量が一定以上（石油換算1,500kl/年）の特定事業者（約40社）
 - ・その他商工会議所会員企業等
- (3) 特に7月5日（金）を『一斉ライトダウンDAY』として、賛同企業や自治体にノー残業、ノーマイカー（相乗り）などの取組強化を呼びかけ、県庁舎（本庁舎・総合事務所等）でも19時30分までに完全ライトダウンを実施する。
- (4) また、本キャンペーンに関連し、音楽鑑賞や星空観察を楽しむイベント『七夕 CATCH the STAR FESTIVAL』を開催する。

『七夕 CATCH the STAR FESTIVAL』

日時：令和6年7月5日（金） 17時30分から20時30分ごろ（日没：19時22分）

場所：とりぎん文化会館 中庭、屋内フリースペース

<概要>

○ブラスバンド演奏（八頭高校）、書道パフォーマンス（鳥取城北高校）

○ライトダウン

○JAZZ演奏（The Bop's、菊池ひみこ氏）

○星空観察会（鳥取環境大学天文部）

- ・会場での星空解説をInstagramライブで生放送し、県内各地で会場の解説を聴きながら星空観察を楽しんでいただく。

○サイドイベント

◇移動プラネタリウム上映

◇ブース出展、パネル展示（パネル展示は7月7日（日）まで）

- ・県内の美しい星空や星空を楽しむ夏の催しの紹介、省エネルギーや環境保全に係る啓発等

淀江産業廃棄物管理型最終処分場に係る事業計画について

令和6年6月13日
自然共生社会局循環型社会推進課

(公財)鳥取県環境管理事業センター(以下「センター」という。)は理事会を開催し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく産業廃棄物処理施設設置許可申請書(以下「設置許可申請書」という。)を原案のとおり県に提出することについて、出席した理事全員の賛成で承認され、その後、県に申請があったので、その概要を報告する。

1 環境管理事業センター理事会の概要

- (1) 開催日 5月29日(水)
- (2) 会場 エキパル倉吉1階 多目的ホール
- (3) 傍聴者 2名
- (4) 設置許可申請書の概要

別紙「淀江産業廃棄物管理型最終処分場に係る廃棄物処理法に基づく設置許可申請書(案)の概要」のとおり

(5) 理事からの主な意見等

- ・許可申請後、どれくらいの期間で許可が出ると見込んでいるか。
⇒【センター】県は厳格に審査すると聞いており、現時点で期間については分からない。
- ・維持管理計画書にある異常事態の発生時の対応について、関係機関との連絡だけでなく、周辺住民への連絡も速やかにするように願う。
⇒【センター】県、関係機関と周辺住民への連絡を速やかに対応しようと考えている。

2 センターから設置許可申請書の県への提出

5月31日(金)に、センターは設置許可申請書を県(地域社会振興部)に提出した。

3 今後の予定

地域社会振興部産業廃棄物処理施設審査課が、専門家に意見を聴きながら、客観的かつ科学的な根拠に基づき厳格に審査を行う。

淀江産業廃棄物管理型最終処分場に係る 産業廃棄物処理法に基づく設置許可申請書(案)の概要

令和6年5月29日
(公財)鳥取県環境管理事業センター

1 事業主体
公益財団法人鳥取県環境管理事業センター

2 施設の種類
産業廃棄物管理型最終処分場

3 施設の整備内容

(1) 設置場所

米子市淀江町小波地内（淀江町小波 434-102 番地外 36 筆、一般廃棄物最終処分場隣接地）

(2) 施設の形式及び規模

オープン型最終処分場（期別埋立計画による段階的埋立方式）	
埋立面積	約 22,100 m ² （開発面積：約 38,900 m ² ）
埋立容量	約 252,000 m ³ （第Ⅰ期：約 7.4 万 m ³ 、第Ⅱ期：約 17.8 万 m ³ ）
処理廃棄物	産業廃棄物：燃え殻を主体とした 13 品目 廃棄物量：約 222,000 トン（年間 6,000 トン×37 年間）
事業期間	約 47 年間（第Ⅰ期埋立期間：約 10 年間、第Ⅱ期埋立期間：約 27 年間、維持管理期間：約 10 年間）

※事業期間は、廃棄物の搬入量や安定化の状況により変わることがあります。

(3) 周辺の生活環境に配慮した設備

浸出水処理施設	ゲリラ豪雨等にも配慮した水処理システム 高度な水処理施設「逆浸透膜（RO膜）方式」による浄化	
遮水構造	底面部	二重遮水シートとベントナイト混合土による 3 重の遮水構造 電氣的漏えい検知システムを上面シートに敷設
	法面部	二重遮水シートと遮光マット ただし、底部から小段 1 段目の部分は、漏水に対する自己修復性能を持ったベントナイトシートを追加敷設

4 概算事業費

区分		概算額	備考
支出	①建設費	71 億円	I 期＋II 期の合計
	②借地料等	5 億円	
	③維持管理費	43 億円	
支出合計		119 億円	
収入	①処分料収入等	61 億円	
	②補助金	58 億円	国、県を想定
収入合計		119 億円	

※事業費は、事業執行時の物価状況等により変わることがあります。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和6年6月13日

生活環境部

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
くらしの安心局 住宅政策課 (営繕課)	県営住宅上福原第一団地第四期 エコ改善工事(61-2棟)(建築)	米子市 上福原 七丁目	株式会社平田組 代表取締役 平田 淳	150,700,000円 (予定価格) 163,570,000円	令和6年5月27日 ~令和6年12月10日	令和6年5月24日	制限付一般競争入札 (3社)